

| | | | | |
|-------------|--|---|------|----|
| 会議の名称 | | 第3回つくば市指定管理者候補者選定検討会議 | | |
| 開催日時 | | 平成28年10月7日(金) | | |
| 開催場所 | | 市役所 5階 庁議室 | | |
| 事務局(担当課) | | 総務部行政経営課 | | |
| 出席者 | 委員 | 池畑委員, 鈴木委員, 平塚委員, 牧内委員, 溝上委員, 岡田副市長(座長), 松本市長公室長, 飯泉総務部長, 小田倉福祉部長(つくば市子育て総合支援センター所管) | | |
| | その他 | こども課: 山口課長, 桜井補佐, 岡田係長 | | |
| | 事務局 | 高田総務部次長 行政経営課: 岡野課長, 片野補佐, 沼尻係長, 大友主任, 澤頭主任主査(記録者) | | |
| 公開・非公開の別 | | <input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 | 傍聴者数 | 一人 |
| 非公開の場合はその理由 | | つくば市情報公開条例第5条各号に規定される不開示情報を取り扱うため | | |
| 会議次第 | <p>【第3回つくば市指定管理者候補者選定検討会議】</p> <p>1 開会</p> <p>2 報告事項</p> <p>① 指定管理者実績評価表について (資料1-1)</p> <p>② 類似施設の運営状況について (資料1-2)</p> <p>3 承認事項</p> <p>つくば市子育て総合支援センター実績評価表の加減点の承認について</p> <p>4 申請者プレゼンテーション及び質疑並びに採点</p> <p>① 申請者ア</p> <p>② シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社</p> <p>5 審議事項</p> <p>(1) 集計結果報告及び候補者決定</p> <p>(2) 選定検討結果報告書について</p> <p>6 閉会</p> | | | |

○**座長** 子育て総合支援センターの指定管理者選定検討会議を始めます。それでは、会議次第の2, 報告事項の①指定管理者実績評価表について説明願います。

○**こども課** [資料1-1により説明]

- 座長** ただいまのこども課からの実績評価について、御質問ございましたらお願いいたします。
- 委員** 自主事業についての満足度調査を見ると、利用しやすさと施設の管理状況と職員についてのパーセンテージが出ているが、自主事業のような企画自体に対する満足度調査の結果は出ているか。
- こども課** つくば市指定管理者実績評価表添付資料32ページの質問8、当センターのイベントに参加したことがある、ない等についてのアンケートを実施しております。参加してよかったイベントについては、下に記載しています。
- 座長** この中で自主事業はどれか。全部自主事業なのか。
- こども課** 自主事業は下から4行目、夏祭りやエコ祭り、ハロウィン等で、上に書いてあるものはこちらから指定した事業です。
- 座長** そのほかございますか。
- 委員** 利用者に対するイベントは素晴らしいが、つくば市内の総合的な育児支援施設としての横の連携に対する評価はここの中には字句がないようですが、評価対象外というか、余り重視されていない印象です。
- こども課** 満足度アンケートは、あくまでも利用者の満足度アンケートです。総合支援センターと各地域の各施設との連携についてのアンケートは実施しておりません。
- 委員** それはなぜか。前回質問させていただいたときにはその点は仕様書に入っているという話でした。子育て支援サークルの皆さんのアンケートも入っていたほうがいい。
- こども課** 親子で利用している施設ですので、アンケートの実施目的は利用者の満足度を重点に行いました。委員おっしゃるとおり、子育て総合支援センターは、つくば市の子育て支援の核、中心となる施設です。ハブ的な役割を果たしております。そういった観点から、今後は、委員の御意見も考慮しながら、内部で検討します。
- 座長** 今回、総合支援センターとして、いろいろな子育て施設との関係性を指定管理の方に期待するということは、項目の中のどこかに入っているのか。
- こども課** 仕様書の中に記載しています。
- 座長** そうすると、プレゼンテーション終了後に申請者に対して具体的に質問して採点することになると思う。
- 委員** それは、この採点表のどこで見ればいいのか。
- 委員** 採点表4の(3)地域や他施設との連携等が考慮されているか、の欄でチェックすればいいのか。
- こども課** はい。
- 座長** そのほかございますか。
- 委員** 同じく添付資料32ページの「参加してよかったイベント」で、下のほうの

夏祭り，エコ祭り，ハロウィンが自主事業ということだが，実績評価表の2ページを見ると，スキルアップ講座，誕生日会，エコ祭り，夏祭り，ハロウィンパーティー，クリスマス，離乳食，工作教室が自主事業として挙げられている。自主事業は実績評価表の2ページが正しいのか。

- こども課** 自主事業としては，実績評価表2ページに記載してある事業が正しいものです。
- 委員** その場合，実績評価表2ページにあるスキルアップ講座は添付資料32ページのどれですか。
- こども課** スキルアップ事業については，各利用者が対象ではないので，こちらには該当しておりません。
- 委員** 子育て支援の支援側の方に対するスキルアップですよ。
- こども課** そうです。
- 委員** その視点がすごく抜け落ちている感じがあります。
- 座長** 資料は，わかりやすく作ってください。
- こども課** 今後注意します。申し訳ございませんでした。
- 座長** そのほかございますか。なければ，実績評価表5ページのように，合計点が21点，評価ランクがA，3点加算するということですが，よろしいですか。

[異議なし]

では，現在の指定管理者であるシダックス大新東ヒューマンサービスに3点加点になります。

それでは，次に，類似施設の運営状況について説明願います。

- こども課** [資料1－2により説明]
- 座長** ただいまの類似施設の運営状況について御質問，御意見等あれば，お願いいたします。
- 委員** たくさん受託事業をされているが，評価書類はないのか。評価書類は，応募の際には出さないものなのか。
そもそも今回の評価は事業者にはフィードバックされるのか。すごく評価が高いので，フィードバックしてあげたほうがいい気がする。
- こども課** 他市で指定管理等を受けていた場合の評価については，提出させておりません。
- 事務局** 補足になりますが，現在つくば市内で指定管理を実施している事業者に関しては，毎年度，担当課による実績評価を行っております。その実績評価の結果を事業者にはフィードバックし，改善・改良が必要な部分については指示してい

ます。

そのほか、毎月事業者との打ち合わせの中で、利用者からの御意見についてどのように改善・改良していくのか、意見交換が行われております。

○**座長** そのほかございますか。

○**委員** 応募者の資格要件の中で、市内又は隣接市に拠点となる事務所を置くこととなっていますが、シダックスが牛久ですよね。申請者アが龍ヶ崎。これは納税証明があればそれで確認できると思いますが、事業所があるかどうか、支店があるかどうかの確認はどのようにされているのか。

○**こども課** 提出された定款、履歴事項証明、また、ホームページ等で確認しています。

○**委員** 申請者アのパンフレットで確認というのは証明になるのか。

○**こども課** 申請者アの指定管理者応募申請書類の50ページに記載されております。

○**委員** 龍ヶ崎に支店があるということは、龍ヶ崎市に税金を払っているわけですよね。納税証明を取っておけば問題ない。

○**委員** そのほかには一切出てこないため、今日お伺いしようと思った。

○**委員** いざというときの危機管理のため、本当は、そういうところの確認が必要なのではないか。

○**委員** 確かに、納税証明書は神奈川県からしか出ていない。

○**座長** 支店があれば、出るはずですよ。

○**委員** それは当然出るはずですね。

○**座長** シダックスはどうか。

○**委員** シダックスは申請書65ページにあるように、福岡しか載ってないですね。

○**委員** でも、3年という実績はありますね。

○**座長** やはり基本的な事項ですね。

○**委員** 申請書78ページの事業報告に茨城営業所、所在地牛久市とある。

○**座長** 第三者的に評価できる書類になるよう、事務局は工夫してください。

今日は本人に対する確認で対応していきたいと思います。よろしいですか。

そのほかございますか。

なければ、先ほど確認しましたが、指定管理者に申請している大新東サービスの加減点ですが、評価「A」、採点表へ3点加点としたいと思いますが、よろしいですか。

[異議なし]

○**座長** それでは、プレゼンに入ります。申請者ア、お願いします。

[申請者 入室]

○申請者ア [プレゼンテーション]

[質疑応答]

○座長 ただいまのプレゼンに対する御質問、また、今のプレゼン以外でも、申請書についての御質問等々もあわせてお願いします。

○委員 申請書の4ページの安全・安心面からの対応のところでさまざまな対応が書かれているが、不審者に対する対応については、どのような考えで、どのように対応するのか。

○申請者ア 私どもは東京でたくさん仕事をさせていただいておりますので、不審者対応は非常に重点課題でございます。

マニュアルもしっかり整備しており、そのときにどのように動くかを、事前に子どもたちも含めた避難訓練を行っております。

合図の言葉と、合図のゼスチャーの二つを子どもたちとも共有しております。それを大人が示したときには、みんな何も言わずに、即座に避難行動に入るということを子どもたちともやっております。

職員だけでの訓練も繰り返しており、とにかく躊躇せずに、子どもたちと不審者との間に自分で割って入り、相手を捕まえようとするのではなく、とにかく子どもたちを逃がし、安全を確保することを中心に訓練を重ねております。

○委員 全国的に保育士の確保が非常に難しい状況の中で、いろいろなところで展開されていて、またさらに新しいところをやるとなると、そこはかなり大きな問題点になると思う。どのように確保して、その方々がやめないようにどのようにしていくのか。

○申請者ア 今、しきりに新聞や報道で、保育士の待遇とか、きつい仕事だというネガティブキャンペーンのようなことになっており、保育園で働くということに対して、非常に逃げ腰な新卒の保育士たちが多いです。

しかし、子育ての地域支援をやりたいという方たちは非常に増えており、児童館や子ども家庭支援センターで働きたいと、保育士として来てくださる方がいます。当社は児童館や子育て支援を行っている数少ない株式会社です。また、正社員としての採用は、ほかにあまりないようです。

児童館、学童保育、放課後子ども教室を展開していると、幼稚園教諭や学校の教員免許を持っている方がたくさんいます。その人たちも、児童館などで0歳から18歳までを全部見通せるために保育士としての見識も必要であると、全員保育士の資格取得を目指して受験しています。

毎年50人ぐらい受験をし、その中から10人から20人が保育士の資格を取っており、社内で保育士を生み出しております。

例えば児童館の社員に限りますと、93%の定着率になっております。転勤など家庭の都合で辞めた人も、行った先で弊社の事業所がオープンするときにはまた働きたいと言っていたいております。

社内カレッジを整えており、本当にみっちり研修をして自分を高めていけるものを示しております。また、クラブ活動などで横のつながりをつくり、比較的手厚い対応をして皆さんに定着していただけていると思っています。

あと、最初はパートとして入社された方も、家庭の状況が整ってくると正社員として働くというように、比較的私どもは保育士の確保には恵まれていると思っております。

○**座長** そのほかございますか。

○**委員** 育児サークルやNPO法人など、つくばには割と多いが、地域の子育て支援の拠点として、情報の統合役としての事業は、どのように考えているか。

○**申請者ア** 今私どもは、児童館だけではなく、子ども家庭支援センターなどでそういった役割を果たしております。

外からではわからないいろいろなものを、人と人との関係性が途切れないよう、しっかりと引き継ぎしていきたい。

そのような方々の協力なくしてはこの事業はできないと思っており、皆さんの中に入って行って、地元の一人として活動していきたい。

○**委員** つくば地域では理由はわかりませんが、発達に問題のあるお子さんが非常に多い状況です。そのために、市でも臨床心理士をそろえて、いろいろな相談事や発達検査などを実施しています。療育指導者が巡回するとプレゼンにありましたが、実際に発達絡みの相談を受ける職種や考えがあるのか。それから、一時預かりは障害があっても可能かどうか。

○**申請者ア** グループの中で、放課後デイ、障害児の放課後デイもやっております。発達支援についてのいろいろな職種の者がおります。

弊社の子育て支援では、特別支援学校の校長を務めた者が社員として入っており、その者が実際に子どもを観察して、その子に対してどのように療育をしているのがよいかを職員に伝え、職員が療育について研修を受けた上で対応しております。

ただ、私たちだけでやるのではなく関係する方々、また、行政機関とも連携することを基本にしています。

障害を持っているお子さんについての一時保育も、例えば、看護師が付きっきりでたんの除去が必要であるなどは難しいですが、通常の保育園に入っているような状態のお子さんであれば、事前にしっかりと時間をかけて、理解した上でお預かりしたいと思っています。

○**委員** 申請書の3ページ、管理運営上の経営方針の6行目くらいに「科学との調和」という言葉が入っております。先ほどプレゼンでも「科学との調和」という

ことでした。具体的にどういうことを示しているのか。

- 申請者ア** つくば市がお考えのスローガンとして捉えています。つくば市のいろいろなものを読み、「科学との調和」という中でも、特に、環境に対して科学を活用していろいろ取り組んでいることを非常に強く感じました。

子どもたちはやはり未来ですので、子どもたちの未来に本当に適切な環境を手渡していくことを大切に考え、例えば、ソシオーク油田プロジェクトにも取り組んでおります。ぜひ一緒にやっていきたいと捉えています。

ただ、実際につくばでまだ子育て支援活動を始めたわけではないので、一緒に活動する中でもっと深く意味されているところを汲み取り一緒にやっていければと思っております。

- 座長** そのほかございますか。

- 委員** 社内大学基礎科の受講例に3年計画のプログラムというかカリキュラムの内容が表示されている。

大学の位置づけは、職員誰もが行う仕組みなのか、希望者だけなのか。当然これは専門にやっているわけではなく、通常の業務をやりながらの体制になっていると思います。

この大学を出た経験者をどのくらいの比率で配属予定とするのか、社内的な位置づけとなるのかお聞きしたい。

- 申請者ア** 社内カレッジは、パートも含め全員参加です。グレードとしては基礎科、応用科、経営科となっております。内定者から勤務して3年目ぐらいの人たちが基礎科、その後応用科、課長から上ぐらいが経営科です。社長も経営科の一員として、学生として学び続けることになっております。

今の階層別の科目群のほかに、コンプライアンスや会社の理念などの共通科目群、そのほかに専門科目群となっております。そこで、地域子育て支援や保育園の食育など、細分化されたそれぞれに必要なことを学んでいきます。ですので、受講比率については、全員が学ぶことになっております。これは非常に良い取り組みとして、厚労省から好事例として紹介されております。

- 委員** 今つくば市子育て総合支援センターで働いている職員は、希望すれば全員雇用するということか。

- 申請者ア** 今いらっしゃる方で当社を希望してくださる方はぜひお迎えしてこれまでのお仕事を続けていただいて、また、皆さんとの関係性をつないでいただくというのが希望です。

ただ、先ほど申し上げたように、双方できちんと思いを共有できるということを確認し合った上で、事業者が変わったから仕方なく続けているということではなく、弊社に入ってよかったと思っただけのお迎えの仕方をしたい。

- 委員** そうすると、今現に働いている方と、御社が必要とする人数とにずれが生じる気がします。希望する方全員採用できるのか。

- 申請者ア** 希望する方が多いということでしょうか。
- 委員** そうということです。
- 申請者ア** 足りないより多いほうがうれしい。
- 委員** 例えば有給休暇は何年か経つと増えてきます。そういう条件は、そのまま引き継ぐわけか。
- 申請者ア** いえ、それはやはり会社ごとであると思います。今までの会社で、今までの有給については消化していただきたい。私どももきちんと有給休暇の制度は整えておりますので、その中で対応させていただきたい。
- 座長** そのほかございますか。
- 委員** 申請書6ページの職員体制のところですか。これで確定ではなく、まだ臨機応変に対応していくということか。
- 申請者ア** 仕様書などを読みながらつくっておりますが、人をどのように配置するかが一番大事と思っております。「こう提案したからこれでやります」ということではなく、つくば市としっかりと相談しながら適切に対応いたします。
- 委員** 俗に「福祉は人なり」という言葉があると思いますが、やはり人が福祉をつくる、また、人と人がつながってこういった事業が生まれてくるということになると思いますので、確定ではないということでも理解してよろしいですね。
- 申請者ア** はい、おっしゃるとおりだと思っております。
- 委員** 先ほどの社員研修、社内大学ですが、全国展開されておりいろいろな職種の方もいて、リアルな場ではなかなか難しいと思いますが、これはどういうふうにやられていますか。
- 申請者ア** それぞれの支店で集まることもあるが、大きい会場を借りてそこに一堂に会してということもたくさんございます。
- 九州などからは飛行機代と宿泊代がかさみますが、それでもやっています。
- 委員** それは、会社の経費でやっているのか。
- 申請者ア** 当社の研修にける金額は、ちょっと多いかなと思っております。
- 委員** 申請書には、緊急時には本社の指揮監督のもとで、勤務先の事業所が危機管理対応する体制になっていますが、龍ヶ崎の支店については今どのような体制になっていますか。
- 申請者ア** 本部のメンバーに龍ヶ崎の者も含まれております。両方からここは近いですので、東京の本社からもすぐに来られますし、一番早く、一番近くにいる者が駆けつけるということで考えております。
- 委員** それが一つの条件になっていますので、大丈夫ですね。
- 申請者ア** もちろん、はい、大丈夫です。
- 座長** そのほかございますか。
- 委員** 龍ヶ崎は常駐で何人いますか。
- 申請者ア** 龍ヶ崎に常駐しているマネージャーが3名で、龍ヶ崎と本社を行った

り来たりしている者がそのほかにもおります。

ただ、今回、子育て支援事業が本格的に茨城支店に入るので、人員を増員することを考えております。

常総市が16クラブ増えたので、本腰を入れて体制をこれから強化するところですよ。

○**委員** 現時点では給食対応である。その職員が常駐しているという話ですね。

○**申請者ア** 今までは給食の者ですが、今後、子育てからも人が入ります。

○**座長** 子育て総合支援センターのような形では、つくばでやるのは初めてのことかと思う。「ぜひこういう自主事業をやりたい」ということがあればどうぞ。

○**申請者ア** やはり食育が一番得意ですので、非常にお母様たちを悩ませている離乳食の進め方や食べ物アレルギーについてのお手伝いもしたい。

リトミックやスポーツ指導も得意としておりますので、ぜひその辺をやっていききたい。

多世代交流もやっていきたい。自分の孫ではなくても、赤ちゃんと触れ合いたいと思っている方もいる。お母さんたちの中には、自分の親が身近にいない分、高齢の方のお知恵を借りたいということもあり、「お孫さんと一緒」というようなことをしていきたい。

お父さんたちもぜひ子育てに巻き込んでいきたい。

○**座長** ほかになければ、以上で終わります。

[申請者 退室]

<採点>

○**座長** では、次のシダックスを入室させてください。

[申請者 入室]

○**シダックス** [プレゼンテーション]

[質疑応答]

○**座長** ただいまのプレゼンに対して、質問、御意見ありましたらお願いします。

○**委員** 実績評価表添付資料の18ページの間7に「当センター利用の理由は何ですか」という複数回答可の項目がありますが、一番いい評価は「子どもが伸び伸び遊べる」の191。その次が「無料だから」の160。その次が「自宅が近いから」の90。その次が「設備がよい」の82。

上位四つ五つほど上げましたが、非常に総合評価はいいのですが、利用している理由はとなると「無料だから」、「子どもが伸び伸び遊べる」。

イベントなど自主事業に取り組まれていて、自分たちとしてはいいことと思って実施している割には、利用している人の意見の多くは「無料だから」。

今後継続するのであれば、例えば、イベントや子育て相談についての意見が増えてくることで今後ますますお客様に支持される施設になっていく気がします。

もう一点は、保育士の方ですが、茨城県に二百何人の従業員がいるということで、定期的な異動はあるのかどうか。ここの施設は固定された人員でずっとやっているのか、あるいは、定期的に例えば1年とか2年で従業員を異動させているのか。

○**シダックス** 特に子育て支援や児童福祉に関連するサービス等については、親御様や児童の顔と名前をよく把握した上でのサービスが、非常に重要視される世界です。

お子様の顔色、表情、場合によっては病状的なものは、ふだん定期的に接触しているからこそ把握できるものであり、サービスの中で非常に重要な要素を占めていると考えております。

例えば、従業員の転居や全体のチームバランスを考慮しての変更以外では、同じ先生が継続的に関係性を担保できるよう、積極的な異動等はあえて行っておりません。

ただし、ヒヤリハットではないですが、類似施設等を茨城県内でも数多く運営させていただいておりますので、センターで起こっていないから今後も起こらないとは限らない、リスクは想定しておかないといけないと、各営業所のスタッフを含めた情報共有等は、かなり積極的に進めております。

今後も、初めはセンター長クラス、館長クラス、現場の責任者クラスが中心になってくると思いますが、情報共有を県内はもとより全国で積極的に進めていきたいと考えております。

○**座長** そのほかございますか。

○**委員** 保護者の悩みに寄り添う事業がやはり欠かせないと思います。先ほど、保護者の方の悩みを取り除いてあげたいというお話がありました。

すごく今複雑になっていて、虐待、アレルギー、発達支援に関しても、さまざまな悩みがあって、「笑っているけど、実は誰にも相談できない」ということが結構あると思います。そういったものを発掘して救っていくような事業はお考えでしょうか。

○**シダックス** 今、子育て総合支援センターにおいては、相談事業が非常に多く、対処を必要とされております。

健康、発達、それから食育です。初めて子育てし不安をお持ちのお母様に対しては、基本的な部分での対応について当社の保育士が行う場合もあります。当方

は学校給食でも全国区で今最大手の会社となっておりますので、数多くの栄養士、管理栄養士を抱えております。食育に関しては専門家をセンターに配置し、専門的な講義、講座を適宜開催しております。

専門分野の説明や相談も非常に大事な部分ではありますが、今、相談結果の割合は、実は専門分野以外の「その他の相談」が全体の10%以上です。

専門的な話ではなくプライベートな話、例えば旦那様の話などを保育士にしてくれるまでの信頼関係の構築が、非常に大事になっています。

実はそこに、深層心理ではないですが、非常に根本的な悩みを抱えているケースが非常に多い。

5年、6年継続的にセンターを運営させていただいておりますので、通常であれば話さないプライベートな悩み、相談を数多く切り出させていただいている。

ここは非常にクローズの世界で聞かざるを得ない部分もあるが、会ったときにさらっと一言二言気軽に、日常的に根元に抱えている大きな悩み、本人も気がついていないような悩みをまずは聞き出すこと。

相談に関しては、その雰囲気づくり、環境づくり、気軽にそういった部分話せるような環境にかなり注目している。受付対応がコンシェルジュ的な御挨拶から始まりそこに誘導する、また、雰囲気がおかしければこちらから声をかける。

これは事業というには稚拙な表現かもしれないが、重要な要素として、当社はかなりデリケートに扱わせていただくサービスとして、従業員に徹底させております。

虐待についてですが、お子さんに対する遊ばせ方、注意の仕方で気になるところがある。そのときには怒らない子育て練習法に基づいて、何回か接したところ、お母様のお子様に対する態度が変わり大分よくなったという事例があります。

実際に虐待らしき状況が見られたときには、もちろんつくば市の家庭相談員さんとも連携を取り、御相談したり、見に来ていただいたりということもあります。

アレルギーに関しては、栄養士が相談を受けております。

○**委員** では、書かれてないが、今もやっているし、これからもやるつもりだとお考えですか。

○**シダックス** そうです。

○**委員** わかりました。

[貸借対照表に関する質疑応答]

○**座長** そのほかございますか。

○**委員** 申請書の30ページ、指定事業に係る収支予算書の中で、子育て支援従事者のスキルアップに役立つ講座の開催を予定されているが、具体的にどんな内容の講座なのか。

- シダックス** 今年度は、発達障害のお子さんに対しての対応と保護者支援の講座を設け、大学の先生に来ていただいて講演していただきました。
- もう一つは、絵本アドバイザーの方にいらしていただき、年齢の発達に合わせた絵本の選び方、読み聞かせの仕方、絵本の与え方の講座を開きました。
- 委員** 対象にした関係者、参加者は。
- シダックス** もう一つ、わらべ歌をやりました。対象は児童館、保育所、保育園です。それからつくば市内の幼稚園、子育て支援事業をしている各拠点の方々を対象に募集しました。
- 座長** そのほかございますか。
- 委員** 申請書の36ページ一番下の子育て支援拠点事業の表エの子育て相談への対応です。発達相談、毎月1回、臨床心理士とあります。これは、障害福祉課から派遣している臨床心理士ですか。
- シダックス** はい。
- 委員** 最近、発達関係の相談が、御存じだと思いますが非常に多いです。今後、自主事業としてこういったものを何か取り入れていこうという考えはありませんか。
- 例えば、臨床心理士を入れて、発達検査までニーズに応じて行っていくとか、そういったお考えはあるか。
- シダックス** 発達相談を含めて、年々相談事項が専門化、高度化している。深くメスを入れないといけないと当社でも把握している。こういったニーズの高いところに関しては、開催の頻度までは明言できないが、自主事業として積極的に展開すべきだと理解しています。
- 委員** この10月からの社会保険の適用拡大により、御社は対象企業になると思う。センターにおいても何人か当然いらっしゃると思うが、これは積算の中に入れているのかどうか。
- シダックス** 当社は、県内に茨城営業所と鹿島営業所の2カ所がございます。現有スタッフが200名強いる。原則これまで当社では週30時間以上勤務のシフトを組んでいる者に関しては社保を適用している。これが20時間以上になるとかなり全体として増えると検討していたが、センターに関しては、原則、常勤の者も多いため、ほかの現場ではいたが、該当者がいなかった。
- 委員** センターでは対象者はいないということか。
- シダックス** はい、そうです。
- 委員** パートはいますよね。
- シダックス** パートも若干名おります。
- 委員** 20時間。
- シダックス** はい。20時間内というシフトになっているので、社保の適用からは外れます。

- 委員** あいまいな情報かもしれないが、マスコミ報道で、グループ会社の業務の変更があります、というような話を耳にした。そういうこともあるとすれば、御社への影響というのはあるのか。あるのであればどの程度なのか。
- シダックス** もし具体的に御提示いただければ大変ありがたいのですが。グループ会社のどちらの。
- 委員** 今資料を持ってないが、ホームページで見た。把握はしてらっしゃらないのか。
- シダックス** 我々グループの社員として把握していることと、一般的にシダックスというとカラオケのイメージが非常に強いとの認知を受けている。我々は社会サービス部門で、ヒューマンサービスという事業会社をやっている。
- カラオケの事業体はシダックスコミュニティという会社が行っているのですが、やはり景気に非常に左右されやすい業態であり、不採算店舗についてはある程度積極的にクローズしていった上で、収益の改善を一気に図ろうという状況が一部ございます。
- そちらの店舗ベースでの見直しはおおむね今期中に終わる可能性になっています。今、グループ全体の牽引役となっているのが当方のヒューマンサービスでございます。グループ内での収益は十分グループ連結で吸収することができ、収益に関してはグループ全体で把握している。
- 委員** はい、わかりました。
- 委員** 過去3年間の実績の中で、地域や他施設との連携のネットワークの構築に努めているが、ちょっと足りない部分があるとか、十分でなければ今後どうしたいのか。
- シダックス** 当方は、平成23年度から当センターの運営管理をさせていただいておりますので、長きにわたって関係各所と連絡、情報共有させていただいている。
- 足並みをどうそろえていくかは、どのぐらいのベクトルを個別に打ち出していきけるかにもよるが、積極的に協力体制を仰ぐには、つくば市との連携をさらに深めた上で、当方が牽引役、中心的な立場を担わなくてはいけないということであれば、パワーバランスのようなものをどう解消していくかが、今後の課題になってくると認識しております。
- 委員** 申請書37ページ、一時預かりについて。1日6名まで利用可能とありますが、前の方も確認しましたが、障害をお持ちのお子さんの利用は考えているか。
- シダックス** 臨床心理士の話では、自閉的傾向のお子さんをお預かりしたことはございます。お母様の気持ちの軽減や、そのお子様自身も集団の中で落ち着いて遊べたということもあるので、一応、自閉的なものがあるからといって拒否はしておりません。
- 委員** こども課から提出されている実績評価表の添付資料の中で、一時預かりについて、「利用したいと思わない」が25件ある。

これを把握しているか。もし把握しているのであれば、「利用したいと思わない」という理由は何なのかということまで認識しているか。

○シダックス それは把握しております。「どうして利用したいと思わないのか」というお話もお聞きしましたが、「まだ小さいから一緒に子育てを楽しみたい」ということでした。サービスが満足でないからよりも、生まれた直後なので、一時預かりとして完全に手放してしまうことはまだ避けたいとの御意見が多く、サービスに不満があるということではない、と認識しております。

○委員 ありがとうございます。

○座長 6年間やってきた課題や今後の思いを、一言お願いします。

○シダックス 一番大事なサービスは、最後プレゼン時に申し上げたとおり、我々スタッフと、御利用者様の信頼関係だと思っております。

大人の都合で会社が変わったりとかサービスが変わったりというのは、利用者に対して不備、不満を与えるだけと考えております。今まで真摯な態度で誠心誠意努めてきたつもりです。

また、これまで以上の評価をちょうだいできるように、これまでの信頼関係を損ねない形で、安心・安全面で圧倒的にこのセンターを利用したいと言い続けていただけるように、継続してサービス向上に努めたいと考えております。

○座長 はい、わかりました。

そのほかございますか。

なければ、プレゼンを終わります。

[申請者退室]

<採点>

[休憩]

○座長 それでは、会議を再開します。集計結果を報告してください。

○事務局 本日、審査員の方は9名ですが、審査の結果、申請者ア5票、シダックス4票により、申請者アに決まりました。

○座長 ただいまの報告についての質問、御意見等ございましたら、お願いします。

検討会議は、申請者アを、つくば市子育て総合支援センターの指定管理者候補者として市長に報告することとしたいと思えます。

よろしいですか。

[異議なし]

それでは、報告書（案）の説明をお願いします。

○**事務局** 〔報告書（案）の説明〕

○**座長** ただいまの説明について、御質問等ありましたらお願いします。
なければ、ただいまの事務局案で報告するという事によるしいか。

〔異議なし〕

それでは、当会議の検討結果につきまして、ただいまの報告書により市長に報告し、12月議会に上程したいと思います。

以上をもちまして、指定管理者候補者選定検討会議を閉じます。